

みずほCustomer Desk Report 2023/09/25 号 (As of 2023/09/22)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	147.66
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	147.65	1.0662	157.37	1.2293	0.6411
SYD-NY High	148.42	1.0671	158.26	1.2294	0.6465
SYD-NY Low	147.50	1.0615	157.18	1.2231	0.6404
NY 5:00 PM	148.39	1.0645	157.94	1.2245	0.6441
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,963.84	▲ 106.58	日本2年債	0.0300%	0.0000%
NASDAQ	13,211.81	▲ 12.18	日本10年債	0.7400%	0.0000%
S&P	4,320.06	▲ 9.94	米国2年債	5.1098%	▲0.0319%
日経平均	32,402.41	▲ 168.62	米国5年債	4.5647%	▲0.0536%
TOPIX	2,376.27	▲ 7.14	米国10年債	4.4357%	▲0.0574%
シカゴ日経先物	32,305.00	225.00	独10年債	2.7330%	▲0.0125%
ロンドンFT	7,683.91	5.29	英10年債	4.2475%	▲0.0550%
DAX	15,557.29	▲ 14.57	豪10年債	4.3630%	0.0540%
ハンセン指数	18,057.45	402.04	USDJPY 1M Vol	7.91%	▲1.22%
上海総合	3,132.43	47.73	USDJPY 3M Vol	9.34%	▲0.47%
NY金	1,945.60	6.00	USDJPY 6M Vol	9.33%	▲0.34%
WTI	90.03	0.40	USDJPY 1M 25RR	▲0.76%	Yen Call Over
CRB指数	285.99	0.06	EURJPY 3M Vol	9.19%	▲0.40%
ドルインデックス	105.58	0.22	EURJPY 6M Vol	9.50%	▲0.26%

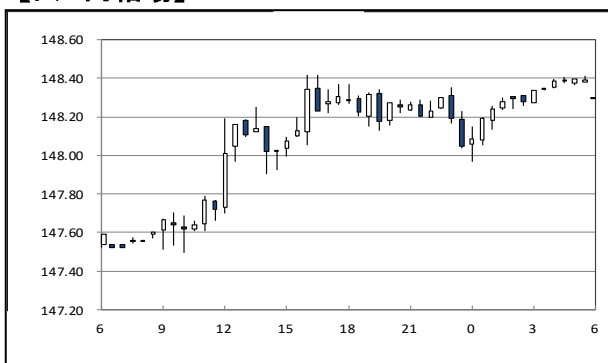
東京	東京時間のドル円は147.65レベルでオープン。正午前には日銀の金融政策決定会合にて現状の金融政策が維持され緩和継続が示されるとドル円は148円台前半まで急伸。その後は午後に控える植田日銀総裁の会見に注目が集まる中、148円を挟んだ推移が続いた。結局、148.13レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、148.13レベルでオープン。午後に米9月PMI速報値の発表を控える中、東京時間の流れを受けて高値圏で底堅く推移。結局、148.26レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0653レベルでオープン。仏9月PMI速報値が予想を大きく下回り1.0615まで下落するも、続いて発表された独9月PMI速報値が予想を上回ったことで反発。結局、1.0637レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	東京市場のドル円は147円台半ばでスタート。日銀による現行の金融緩和政策を継続する発表を受け、円売りが優勢となり、148.42まで上伸。その後も米金利が高水準で推移する展開を横目に、148.30近辺を中心とした値動きが続き、148.26レベルでNYオープン。朝方は148.36まで続伸する場面もあったが、その後発表された米9月S&Pグローバルサービス業PMIとコンポジットPMIの結果が共に予想を下回った内容や、米金利が低下している展開も相まって、147.97まで反落。その後、パウエルFRB理事が「複数回の追加利上げが必要になる可能性高い」との見方を示した事を受け、ドル円は徐々に反発し、148.20付近まで戻す。午後は高値圏での動きが続き、高値の148.41を付け、その後148.39レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.06台後半でスタート。1.0650近辺を挟んだ値動きが続いたが、続いて発表された仏9月各PMIが軒並みに予想より悪化した内容を受け、1.0615まで売られる。その後に発表された独9月各PMIが総じて予より良好な内容となると、買戻しの展開となり、1.0652まで反発。その後1.0640付近で揉み合い後、1.0637レベルでNYオープン。朝方は米金利が低下する動きがサポートとなり、1.0671まで上昇。午後は週末を控え値幅が限定的の中、小幅反落し、1.0645でクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

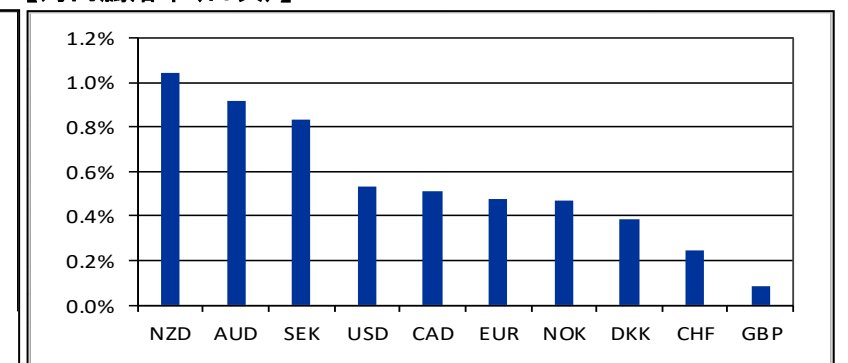
担当:大野・松木

【昨日の指標等】						結果	予想
Date	Time	Event					
9月22日	08:30	日	全国/全国コア/全国コアコアCPI	8月	3.2%/3.1%/4.3%	3.0%/3.0%/4.3%	
	11:50	日	日銀金融政策決定会合		現状の緩和政策を維持		
	15:00	英	小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	8月	0.6%/-1.4%	0.7%/-1.3%	
	16:30	独	製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	9月	39.8/49.8/46.2	39.5/47.1/44.7	
	17:00	欧	製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	9月	43.4/48.4/47.1	44.0/47.6/46.5	
	17:30	英	製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	9月	44.2/47.2/46.8	43.2/49.4/48.7	
	22:45	米	製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	9月	48.9/50.2/50.1	48.2/50.7/50.4	
【本日の予定】						予想	前回
Date	Time	Event					
9月25日	17:00	独	IFO企業景況感/現況/期待指数	9月	85.2/88/83	85.7/89/82.6	
	21:30	米	シカゴ連銀全米活動指数	8月	0.05	0.12	

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.00-150.00	1.06000-1.0750	157.00-159.00

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日のドル円は147.65レベルでオープン。午後に控える日銀金融政策決定会合(BOJ)への様子見ムードから午前中は147円台半ばを中心に動意に乏しい展開が継続したが、正午前に「政策現状維持」のヘッドラインが流れると148円台へ急伸。植田日銀総裁会見前には148円台前半まで上昇した。その後の会見で植田日銀総裁による「政策修正の時期や具体的な対応について現時点では到底決め打ちできない」「必要があれば躊躇なく追加的な金融緩和措置を講じる」「2%の物価目標の安定的持続に必要な時点まで現行緩和を維持」するとのハト派的な発言が材料視されたものの、ドル円は年初来高値148.46を上抜けることはないまま148.40前後での推移を維持した。海外時間に入っても大きな値動きはなく、同レベルでクロースした。今週は米連銀総裁発言の機会や米物価関連指標の発表も予定されているが、先週の重要イベントと比べドル円を動意づかせる大きな材料にはなりにくい。しかし、米FRBによる金融引き締め長期化観測(先週開催されたFOMCおよびパウエルFRB議長記者会見はタカ派な内容)や、日銀による金融緩和の長期化観測(先週開催されたBOJおよび植田日銀総裁記者会見はハト派な内容)、これらの要素を背景とした日米金融政策の方向性の違い(日米金利差拡大)など、ドル円上昇へつなげる材料が揃っている状況下、昨年高値151.94を目指す値動きが継続するものと予想する。政府による介入警戒感依然としてあるものの、本日もドル円は堅調に推移するものとみる。